

## 寅さん歩 その 23

### 東京の博物館めぐりー28

#### 港区ー3 平野 武宏



港区の博物館めぐりの続きです。区内に多くある博物館(記念館・資料館・展示館等を総称します)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。写真右上は品川駅港南口の変わりようです。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

【ニコンミュージアム】 港区港南 2-15-3 品川インターシティC棟 2階

最寄駅 JR 品川駅港南口

HPで確認すると事前予約が必要なのでHPから予約し9月8日10時訪問しました。訪問者は寅次郎の他1組(2名)でした。港南口から地上(1階)に降りず、左前方にある「品川インターシティ」へのスカイウェイを歩くと「ニコンミュージアム」のあるC棟(写真下左)が一番奥の2階にあり、写真下右が入口です。地下2階~5階、23階~30階がニコン本社です。開館は10時~17時、休館日は月曜日・日曜日・祝日他です。



2017年(平成29年)7月同社の創立100周年を記念して開設。ニコンの歴史や数多くの製品・技術などを展示する初の施設で企画展(写真展)も同時開催。歴代のカメラ、顕微鏡、測定機、半導体露光装置などが展示されていました。

ミュージアム入口(写真下左)を入り、受付を済ませ、中を進むと左側に並んだ歴代カメラの展示(写真下右)があり、圧巻です。

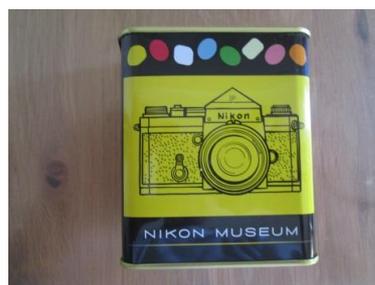


顕微鏡 (写真下左) や測定機器(写真下右)の展示です。



ご来訪記念にニコンカメラが描かれた特製缶入りのドロップ (サクマ製菓) をいただきました。

カメラや測定機器に関心のある方にはこたえられない場所です。



**【お肉の情報館】** 港区港南 2-7-19 最寄駅 JR 品川駅港南口

港南口からエスカレーターで地上に下りて、右方向にある東京都中央卸売市場正門の隣の「食肉市場センタービル」(写真下左) 6階にあります。開かれた市場づくりと市場活性化を目的に2002年(平成14年)12月に市場内に開設されました。ビル内は撮影禁止なのでパンフレットの写真(写真下右)です。と場の業務・役割、肉の生産・流通の紹介、食肉市場・と場に対する偏見や差別の解消などの資料が展示されていました。



## 〔東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム〕

港区港南 4-5-7

最寄駅 JR 品川駅港南口

「東京海洋大学」は 2003 年(平成 15 年) 3 月に共に 120 年以上の歴史を持つ「東京商船大学」と「東京水産大学」が合併して開学した国立大学です。

「東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム」は品川キャンパス（前身は東京水産大学）にあります。越中島キャンパス（前身は東京商船大学）は江東区の博物館めぐりで訪問します。2020 年 4 月から新型コロナウイルス感染拡大予防のため、入構制限が延長され一般の人は入れませんので、以前訪問したデータと写真で紹介します。港南口からエスカレーターで地上に下り、直進、高浜運河にかかる御楯橋を渡ると右手に「正門」(写真下左)があります。受付で「ミュージアム見学」と言えば入れます。正門を入り、左手に「マリンサイエンスミュージアム」入口(写真下右)があります。



海の生き物のはく製（写真下右）や数多くの標本（写真下左）、練習船や海に関する展示があり楽しめます。



別館の「鯨ギャラリー」(写真下左)には体長 17m のセミクジラの全身骨格標本(写真下右)が展示されています。



構内の奥には第 2 代練習船「雲鷹丸(うんようまる)」が外から見学できます。寅次郎、訪問時に食べた学食が気に入りました。



寅さん歩 211 東京の学食めぐり-17 をご参照ください。

**〔港区立伝統交流館〕 港区芝浦 1-11-15 最寄駅 JR 田町駅東口**

「みなとパーク芝浦」の裏にある都内に現存する唯一の木造見番建造物です。1936 年(昭和 11 年)芝浦の花柳界の見番として建設されました。見番とは三業組合の事務所のことで「置屋」・「料亭」・「待合」からなる「三業」を取りまとめ、芸者の取次や遊興費の清算をする施設です。建築の棟梁は目黒雅叙園を手掛けた酒井久五郎とのこと。正面玄関には銅板葺の唐破風(写真下)を付け、1 階は事務所、2 階に桧板敷舞台のある「百畳敷」と呼ぶ大広間を設けました。戦後は「協働会館」として港湾労働者の宿泊所に使用され、2 階のみは日本舞踊の稽古などに貸し出していました。

老朽化のため2000年（平成12年）閉鎖されました。保存活用を望む地域の声を受け、港区は保存整備工事を行い、2019年（令和元年）12月に竣工、2020年（令和2年）5月「伝統文化交流館」として開館しました。港区指定文化財です。受付で昔の銭湯のように大きな木製の下足札をもらい、下履きを入れて上がります。



1階は憩いの間と展示室・情報コーナーで見番時代の建物の様子や建物周りの移り変わりについての展示、また港区在住で伝統工芸品産業を支えている職人の技

（剣道具、琵琶、江戸表具、三味線、額縁、金・銀細工、指物）の紹介展示があります。

2階の大広間（写真下）は他の花柳界との競演に向けた本格的な稽古場、戦後は様々な芸能の稽古場として使われた舞台と交流の間です。畳部分が30畳、舞台部分が30畳あります。



開館は月曜日～日曜日の10時～21時。休館日は12月29日～1月3日・臨時休館日です。交流の間の貸室利用（対象は港区在住・在勤・在学の団体・個人）は有料です。

**【旧新橋停車場 鉄道歴史展示室】** 港区東新橋 1-5-3

最寄駅 JR 新橋駅銀座口

新橋駅銀座口から昭和通りを進み、銀座中央通りを横切った右側に「旧新橋停車場」があります。日本で初めての営業鉄道は1872年（明治5年）に開通した新橋―横浜間28.8km（所要時間53分）です。当初の運賃は上等1円12銭5厘、中等75銭、下等37銭5厘とかなり高価でした（当時は米1升がおよそ4銭）。その後1914年（大正3年）新橋駅は貨物専用の汐留駅となり、1986年

(昭和61年)11月1日国鉄民営化を前提としたダイヤ改正により廃止されました。1991年(平成3年)からここで発掘調査が行われ、1996年(平成8年)国史跡に建物2階の「鉄道歴史展示室」が開館しました。開館は10時～17時、休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替え期間です。建物後ろに復元されたプラットフォーム(写真下右)は休館日でもご覧になれます。



### 〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さん作成のバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦です。7月7日、日本橋を出立し、10月18日現在、日本橋から48番目の細久手宿に到着しました。現在の岐阜県瑞浪市に位置します。

自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

また、ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にご注意ください！

今回は 東京の博物館めぐり-29 です。

平野 寅次郎 拝